

日本学術振興会  
炭素材料第117委員会  
第313回委員会議事録

1. 日 時 平成 27 年 4 月 10 日 (金) 9:30~17:00
2. 場 所 東京工業大学大岡山キャンパス情報理工学研究科大会議室
3. 出席者 48 名 (順不同・敬称略)
- 委員長： 川口雅之 (大阪電通大)
- 副委員長： 藤本宏之 (大阪ガス)
- 主査： 尾崎純一 (群馬大)、豊田昌宏 (大分大)、児玉昌也 (産総研つくば)  
上野貴博 (日本工大)
- 幹事： 稲垣道夫 (北大名誉)、安田榮一 (東工大名誉)、寺井隆幸 (東大)、  
京谷隆 (東北大)、小林知洋 (理研)、塩谷正俊 (東工大)、平田孝道 (東  
京都市大)、丸山純 (大阪市工研)、棚池修 (産総研東北)、
- 委員： 角田淳弥 (原研機構)、沖野不二雄 (信州大)、塩山洋 (産総研関西)、小  
田廣和 (関西大)、安部武志 (京都大/代理：福塚友和)、園部直弘 (クレ  
ハバッテリーマテリアルジャパン)、高波浩 (タンケンシールセーコウ/  
代理：川村良一)、岩下哲雄 (産総研つくば)、福田敏昭 (東海カーボン/  
代理：鶴田佳子)、森田純子 (東洋炭素/代理：森下隆広)、山下良 (新日  
本テクノカーボン/代理：佐藤昌宏)、飯島孝 (新日鉄住金)、橋爪剛 (オ  
イレス工業)、福田哲生 (新日鉄住金化学/代理：水内和彦)、向井紳 (北  
大)、山下順也 (旭化成)
- 委員外： 清原健司 (産総研関西)、夏目勇 (元・東海カーボン)、菱山幸宥 (東京  
都市大名誉)、宮嶋尚哉 (山梨大)
- 同伴者他： 岡田雅樹 (東洋炭素)、太田直人 (東洋炭素)、吉本修 (東洋炭素)、日吉  
正孝 (新日鉄住金)、木村直文 (タンケンシールセーコウ)、児島勇 (タ  
ンケンシールセーコウ)、干川康人 (東北大)、曾根田靖 (産総研つくば)、  
吉澤徳子 (産総研つくば)、安武拓哉 (大分大)、宮澤邦夫 (室工大)、忠  
政明彦 (パナソニック)、杉本慶喜 (東大)

4. 本委員会議事経過

※川口委員長司会の下に本委員会を開催した。

4-1 前回議事録の承認

・第 312 回委員会議事録 (案) の確認と承認を行った。

・A, B, C 分科会議事録（案）について、確認と承認を行った。

#### 4-2 117 委員会関連報告

##### (1) 委員長報告など

###### ① 人事

委員交代： 関西熱化学 松平寛司様 → 岡崎敏宏様  
役職変更： 大阪ガス 藤本宏之様 幹事 → 副委員長  
          東京都市大 吉田明様 幹事 → 委員  
          東京都市大 平田孝道様 委員 → 幹事  
入会      : 大阪市立工業研究所 丸山純様 → 特任幹事（日独セミナー担当）  
退会      : 三菱鉛筆 須田吉久様

###### ② 平成 27 年度委員会開催日程について

以下の通り実施する計画である旨が説明された。一部は前回アナウンスした日程から変更がある。

- ・ 第 313 回：平成 27 年 4 月 10 日（金） 東工大
- ・ 第 314 回：平成 27 年 7 月 31 日（金） 東大
- ・ 第 315 回：平成 27 年 9 月 11 日（金） 東京都市大 ※注・その後変更あり
- ・ 第 316 回、特別講演会：平成 27 年 11 月 19 日（木）、20 日（金） 産総研

###### ③ 第 5 回日独合同セミナーについて

7 月 19 日（日）～21 日（火）の日程で、フライベルク市（ドイツ）で開催される。日本側招待講演者は尾崎 A 分科会主査で、講演タイトルは「Carbon Alloy Catalysts for Material-Energy Conversion」。ホームページや炭素誌で会告を掲載中で、参加・発表の申し込みは 4 月 30 日。

###### ④ 平成 27 年度の特別講演会については 11 月 19 日に産総研臨海副都心センターで開催する。現在企画中なので、詳細は次回以降にアナウンスする。

###### ⑤ 分科会の区分をより詳しく改定する作業を主査間で行った。その結果を本日以降ホームページに掲載する旨がアナウンスされた。

##### (2) 分科会資料（発表順）

117-313-B-1 黒鉛ヒーターの高温時における見掛けの抵抗変化挙動  
          （東洋炭素）○岡田雅樹、吉本修、辰巳誠、太田直人

117-313-B-2 リチウムイオン電池用黒鉛負極合剤電極内でのイオン輸送挙動  
          （京大院工）○福塚友和、李西濛、丸山翔平、小山田耕平、宮崎晃平、  
          安部武志

117-312-B-3 多孔質炭素電極によるイオンの選択的吸着について  
          （産総研関西）○清原健司、塩山洋、（産総研つくば）曾根田靖

117-313-C-1 炭素繊維の単繊維による異方性の評価試験（ねじり試験と曲げ試験）

(産総研つくば) ○岩下哲雄

117-313-C-2 炭素被覆アルミニウム陽極酸化皮膜に固定化するラッカーゼの配向制御と酵素電極性能への影響

(東北大多元研) ○干川康人、Castro- Muñiz Alberto、多和田華子、  
込山拓、中山航、京谷隆  
(信州大工) 野崎功一、天野良彦 (産総研東北) 伊藤徹二

117-313-A-1 アルカリ金属GICsからのグラフェンの調製

(大分大学) ○安武拓哉、衣本太郎、津村朋樹、豊田昌宏  
(積水化学工業) 和田拓也、中壽賀章

117-313-A-2 carbon micromesh (極薄carbon membrane) 表面の減速光学系SEM による観察

(東京都市大工) 吉田明、(東京都市大名誉) ○菱山幸宥、鏑木裕

#### 4-3 その他報告事項

##### (1) 炭素材料学会近況報告

※尾崎主査(学会運営委員長)より学会運営について以下の報告があった。

- ・ 学会会員数の状況と 2014 年度年会の実施状況が報告された。年会では参加者が 400 名を超えたことが報告された。
- ・ 2015 年度年会の準備に取り組んでいる旨が説明された。12/2 ~12/4 に関西大学で開催。今年も、インターナショナルセッション、特別セッション、若手講演会が催される見通しである。
- ・ 講習会、セミナーの報告があった。1 月セミナーは 1/23 に、リチウムイオン電池の高機能化と解析技術：電極材としての炭素材料の機能と評価という内容で開催し、34 名の参加があった。次回は、6/5 に京都で先端科学技術講演会が開催される。内容は、「リチウムイオン電池用導電助剤・バインダーの最前線」。
- ・ 夏季セミナーは、8/10-8/11 に東京ソラマチで開催。

※曾根田氏(学会編集委員長)より炭素誌について以下の報告があった。

- ・ 1 月に 266 号、4 月に 267 号をそれぞれ発刊した。267 号には第 4 回日独合同セミナー小特集として、招待講演者 2 名の解説記事を掲載している。
- ・ 6 月に 268 号を予定。学会賞受賞者のレビューと、日独セミナー小特集の一般投稿分、昨年の年会招待講演者の解説記事を予定している。
- ・ 1 2 月には特集号「グリーン科学・技術に関わる炭素材料」を予定している。
- ・ 一般論文が少ない現状なので、投稿を検討いただきたい。

(2)国際会議関係 特に報告なし

(3)CARBON 誌関係 特に報告なし。

(4)その他報告 なし

(以上)